

リハ工学カンファレンス in あつぎ報告

土田 浩敬

1、はじめに

みなさんこんにちは、すっかり秋も深まり冬が目前になってきましたね。少し時間が経ちましたが、今年の8月下旬に行われたリハ工学カンファレンス in あつぎの様子を報告させていただきます。

2、概要

第33回リハ工学カンファレンス in あつぎ

神奈川の中心で、支援技術を学ぶ

～そしてリハビリテーション工学の未来へ～

日時：2018年8月29日(水)30日(木)31日(金)

場所：厚木市文化会館

目的：リハ工学カンファレンス（以下、カンファレンスとする）では、障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で納得できるまで討論することを目的として、毎年1回開催されています。

3、あつぎへ出発!!

会場である、厚木市文化会館は本厚木駅から徒歩10分ほどのところにあります。厚木市は神奈川県ほぼ中央、一級河川の相模川と丹沢大山に挟まれたエリアに位置します。人口22万人、市内には多くの企業や学校が存在するようで、たくさんの方が駅周辺を歩き交います。

出発当日、発表するために作ったパワーポイントが入ったUSBメモリーを忘れていないか、確認してから出発した。これまでカンファレンスでの発表は、2016年の沖縄と昨年行われた神戸で1回ずつ発表しました。今年にあつぎでは、2演題発表しようと思い、早めに発表の準備に取り掛かりました。

何について発表をするかという「電動車椅子」のことと、今年3月に行った「ロサンゼルス旅行記」について発表します。

座長の打診もあったので、引き受けさせていただきました。今回のカンファレンスは私にとって盛りだくさんの内容。こんな機会はなかなか無いので、カンファレンス成功の一助になればという想いと、自分自身も楽しみながら成長できればという想いをもちながら参加しました。電動車椅子のことと、ロサンゼルス旅行記についての発表ですが、伝えたいポイントが沢山あるので、まとめることが大変です。聞いてもらう方たちに分かりやすく伝わるように、パワーポイントの写真的見せ方や、文字の大きさや色使いなんかも工夫しました。カンファレンスの一週間前には、発表するパワーポイントも完成していたので、何度も見直して本番に臨みました。

新横浜から町田で乗り継いで、約1時間ほどで本厚木駅に到着しました。そして、会場である厚木市文化会館へ、駅から直接向かいました。会場では複数の部屋で、様々な発表が行われています。医療従事者から車椅子のエンジニア、大学関係者など、色んな種別の人達が意見を交換し合います。地下では、多くの企業や大学がそれぞれブースを構えて商品展示がされてありました。最終日まで、程よい緊張感を保ちながらの3日間です。

4、リハ工は楽しいYo!!!

リハ工学カンファレンス、名前だけ聴くとなんだか難しそう、そんなイメージを持たれる方も多はず。しかしみなさんが思っているほど、お堅い場所ではありません。ノーネクタイが基本で、みんな「～さん」と呼び合い「～先生」とは呼びません。当事者も多く参加されて、私たち障害者の生活内における「ニーズ」（消費者の求める需要）を発表することができますし、カンファレンスを通じて「シーズ」（新しい技術、材料、サービスなどのまだ世の中に出ていない種）を見つけ出すことも出来る場ではないかと感じています。

2 日目は当事者セッションで初座長です。事前に抄録を読み込み、基本情報や質問などを考えました。まあ、あとは当たって砕けてなんとかなるだろうと前向きに考えて本番へ。いろいろとハプニングがあったものの、演者の発表と質疑応答も終わりました。発表者の熱意が伝わる良いセッションになり、私自身も無事にファシリテートが出来ていい経験になりました。どのようなハプニングがあったかは、発表された方のプライバシーもありますので、この場では控えさせていただきます。

他にも 2 日目には、良い出会いもありました。知り合いの作業療法士の方からの紹介で、まだ入院中で外出の練習をされている頸損の方に出会いました。そこで、私の地域で生活している様子や外出方法などをお話ししました。今後情報を得るために、頸損連を活用してもらえれば良いなと思い、会のことも伝えて連絡先も交換しました。

3 日目最終日。この日の午前中に、私は 2 演題を発表します。1 つは 3 月に行ってきたロサンゼルス旅行のことと、もう一つは自身の電動車椅子の工夫と利便性について発表しました。電動車椅子の発表が先にあったのですが、リハビリテーション工学と言うだけあって、やはり関心を持つ方が多くて、発表会場も立ち見の方がいる程の盛況ぶりでした。車椅子エンジニアと電動車椅子を製作する企業の後に、私の電動車椅子の工夫と、現況を踏まえた上で電動車椅子に求めるものを発表させていただきました。提供側と消費側お互いの主張がある、とても意味のあるセッションだったのではないかと思います。

その発表の後すぐに、ロサンゼルス旅行の発表を行いました。しかも 1 番目の演者だったのであまり余裕は無かったのですが、無事に終わることが出来ました。ちなみに 10 分と発表時間が決まっているところを、17 分喋ってしまいました。私の中ではまだまだ伝えたいことがあったのですが、もっと要点をまとめなければならないと同時に思いました。

5、まとめ

ともかく無事に 3 日間のカンファレンスも終了して帰って来ることができました。今回は 1 座

長、2 演題発表と忙しいカンファレンスでしたが、中身の濃い 3 日間でもとても充実していました。初座長でしたが、また機会があれば今後も務めさせていただきたいと思いました。情報共有の場、新しい出会いの場として、来年もカンファレンスに戻って来たいと、今回の大会を振り返りながら兵庫への帰路へとつきました。



演題発表で壇上に並ぶ頸損 4 名



カンファレンスに参加した頸髄損傷の仲間たちと